

# Tomorrow Augmented

本レポートは、アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサ IM）の研究専用ウェブサイト

「[Tomorrow: Augmented](#)」に 2021 年 4 月 13 日付で掲載された英語原文を抄訳したものです。なお、英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。オリジナルの英語版は[こちら](#)をご覧ください。

## グリーンエネルギーがバブルの領域とは思われない理由

アマンダ・オトゥール、アクサ IM クリーンテック戦略ポートフォリオマネージャー

昨年は、グリーンエネルギー（再生可能エネルギー関連）に対する企業および投資家の全般的姿勢に並外れた変化が起きました。環境、社会、ガバナンス（ESG）投資ユニバースで以前見られたいかなるトレンドも凌駕する持続可能性への移行が経済の多くの分野で展開され、特にグリーンエネルギー（基本的に環境負荷が小さいエネルギー）で顕著でした。

新型コロナウイルス・パンデミックの中、「より良い復興」を目指すべく、アルファベットやフェイスブックなどのグローバル企業が相次いでネットゼロ排出目標が打ち出し、各国政府も同様の目標を発表しました。

これらは単なる言葉だけの目標ではありません。たとえばアルファベットは 2030 年までにカーボンフリーとする計画を立てていますが、同社はすでに 2007 年以降、カーボンニュートラル（炭素中立、実質ゼロ）を達成しています。2019 年には、アルファベットの世界における 1 時間当たり使用電力量の 61%を風力、太陽光およびその他の再生可能発電源が占めており、同社は今後 10 年間で移行をさらに推し進めていく予定です。

フェイスブックは 2020 年に全電力を再生可能エネルギー源で賄うと発表しました。さらに 2030 年までに、サプライヤーおよびユーザーを含む同社の「バリューチェーン」全体でネットゼロ排出にするとコミットしています。

### バブルの領域？

世界経済におけるテクノロジー大企業およびその他企業によるこういったコミットメントに加え、各国政府も同様の目標を掲げていることが相乗効果となり、グリーンエネルギー銘柄への重要な成長ドライバーになっています。

クリーン、スマートで効率的なエネルギーへの巨額投資を見越して、多数のグリーンエネルギー銘柄が 2020 年に 2 倍以上に値上がりました。クリーンエネルギー銘柄指標のひとつ「ナスダック・クリーン・エッジ・グリーン・エナジー指数ファンド」は昨年、約 204%上昇しました<sup>1</sup>。

このようなリターンは驚異的であり、当然ながらこういった銘柄のバリュエーションに関する疑問が浮上しています。これに対して当社は、個別銘柄の適切なファンダメンタルズ分析、事業機会、競争上の地位、およびバリュエーションを熟考した上で説明が可能と考えます。

この分析の一環として、世界規模でエネルギー移行における変曲点に達したとの認識が重要です。エネルギー移行への設備投資は、昨年のパンデミックのさなかで投資額が伸びた数少ない分野のひとつでした。

1 月に公表された IHS マークイットの調査<sup>2</sup>では、2021～25 年の 5 年間の世界の再生可能エネルギーへの設備投資が、2015～19 年に比べて 14%上昇すると予測しています。

---

<sup>1</sup> [First Trust NASDAQ® Clean Edge® Green Energy Index Fund \(QCLN\) \(ftportfolios.com\)](https://www.ftportfolios.com/FirstTrust/NASDAQ/CleanEdge/GreenEnergyIndexFund/QCLN)

<sup>2</sup> [再生可能エネルギーへの設備投資が 2025 年までに 14%の上昇： IHS マークイット | IHS マークイット](#)

同調査はさらに、世界の風力および太陽光発電の合計設備容量は、2023年に世界の天然ガス火力発電の合計容量を超え、2024年には石炭火力発電容量を超えると推定しています。

これがグリーンエネルギー銘柄の昨年の高いパフォーマンスの背景にある重要なポイントであり、ファンダメンタルズが依然として非常に強力であると当社が考える理由もそこにあります。企業は今後、再生可能エネルギーに移行する必要がある、このことは再生可能エネルギー供給企業にとって獲得可能な市場が著しく拡大していくことを意味します。

これはつまり、再生可能エネルギー関連の成長率がより高く、そして長期にわたって持続することを意味します。今後、さらに多くの企業が再生可能エネルギーを必要とすることを公式表明することで、再生可能エネルギー供給企業の将来収益の可視性が高くなっていくでしょう。

拡大しつつある再生可能エネルギー関連セクターのアナリストは業績予想の上方修正を続けていますが、同セクターの銘柄およびその将来見通しに関するコンセンサスは、まだポテンシャルを適正に反映するに至っていない、と当社は考えています。

### 世界的なエネルギー移行における有力企業

再生可能エネルギー、エネルギー効率および管理からスマートグリッド（次世代送電網）、そしてグリッド内外で再生可能エネルギーをサポートするエネルギー貯蔵ソリューションに至るまで、エネルギー移行分野では多くの企業が事業を展開しています。

ネクステラ・エナジーはその一社です。同社は米国で上場している公益事業会社であり、既に世界最大の風力・太陽光発電企業で、クリーンエネルギーのインフラ設備における先進企業としての戦略継続をコミットしています。

もう一つの米上場企業であるアメレスコは、クリーンエネルギーのインフラ設備部門ではネクステラとは異なる役割を担っていますが、ネクステラと同様に重要です。エネルギーサービス企業のアメレスコは政府、医療、公共、教育などの各部門と協力し、様々な施設におけるエネルギーの使用と効率の改善に貢献しています。

欧州でも複数の企業が同様の事業を行っており、エネルギー効率改善のためのエネルギー・自動化ソリューションをデジタル方式で展開する多国籍企業、シュナイダー・エレクトリックはその一社です。

これらはすでに事業として運営されている実証済みの技術であり、今後数年にわたりエネルギーの生成および利用を変革する可能性があります。

グリーンエネルギーセクターにおいて明日の勝者企業を見極めるには専門知識が必要です。それでも、この市場の背後にはダイナミズムがあります。エネルギー移行はすでに始まっており、追い風に乗っています。多様な事業機会がすでにふんだんに存在するだけでなく、イノベーションのペースは加速しており、潜在的投資に向け新たな分野を生み続けています。

ディスクレマー

#### アクサ IM について

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサ IM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスお

および伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2020年12月末時点で約8,580億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、5,550億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

アクサIMは20カ国27拠点において2,440名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

#### 投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

#### 【ご留意事項】

当資料は、金融商品取引法で定義されている適格機関投資家を対象としております。

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第 16 号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-20973